

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：課長 中島 威夫

事業名 一般国道8号 <small>いといがわひがし</small> 糸魚川東バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：新潟県糸魚川市間脇 <small>いといがわ まわき</small> 至：新潟県糸魚川市押上 <small>いといがわ おしあげ</small>	延長 6.9 km	
事業概要 一般国道8号は、新潟市から京都市に至る延長約560kmの主要な幹線道路であるほか、地域の社会経済活動を支える重要な路線である。糸魚川東バイパスは、糸魚川市の環状道路の一部を構成し、JR北陸本線との立体交差を含む延長6.9kmの4車線（一部2車線）道路である。		
H元年度事業化 H2年度都市計画決定 H4年度用地着手 H10年度工事着手		
全体事業費 約250億円 事業進捗率 32% 供用済延長 0.0km		
計画交通量 16,300台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 142/237億円 (事業費：116/211億円) (維持管理費：26/26億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 488/488億円 (走行時間短縮便益：446/446億円) (走行費用減少便益：37/37億円) (交通事故減少便益：5/5億円)		基準年 平成15年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度改善が見込まれる） ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している田伏地区の騒音レベル低下が見込まれる） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 糸魚川東バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、糸魚川市をはじめとする関係1市3町の首長で構成される糸魚川西頸城国道8号改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 糸魚川総合病院、糸魚川浄化センター、糸魚川市多目的交流センターなどの公共施設や工場が立地。また、大和川南区画整理事業も事業中であり交通需要の増加による交通混雑が深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償協議が難航し、工事着手までに期間を要したが、現在までに1.28kmを工事着手している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成10年代後半には、梶屋敷～押上の暫定2車線供用を予定しており、残る区間についても交通状況を勘案しつつ、引き続き完成供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 新技術、コンクリート構造物の大型化（長尺化）、プレキャストの積極的な活用、建設発生土の有効活用、再生材を利用した舗装、路盤工の活用等によりコスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">糸魚川東バイパス L=6.9km</p> <p>凡 例 ■ 供用中 ▨ 再評価箇所</p> <p>至 富山市 押上 竹ヶ花 T99=21,500台/日 K99=2,000 梶屋敷 北陸本線 間脇 高見崎 (能生町) 至 上越市</p> <p>海川高架橋 L=579 海川 至 糸魚川市街 (新)中大通り橋 前川 大和川南区画整理事業 田伏 田伏トンネル L=320 新早川大橋 L=222 浦本高架橋 L=175 中浜橋 L=50 間脇高架橋 L=740</p> <p>(至)新潟県 糸魚川市押上 (自)新潟県 糸魚川市間脇</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。